

## くまびょう

116号

NEWS

くまびょう  
NEWS2007年  
2月1日

[発行所]

国立病院機構熊本医療センター

〒860-0008

熊本市二の丸1番5号

TEL (096) 353-6501(代)

FAX (096) 325-2519

## 第22回 開放型病院連絡会開催迫る

平成18年度第2回通算第22回開放型病院連絡会を、2007年2月14日（水）午後7時より、国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センターにて開催致します。

内容は、ご紹介頂きました症例の呈示のあと、総合討論で先生方の病院に対するご意見を自由に述べて頂き、最後に厚生労働省近畿厚生局長松本義幸先生による「これからの医療提供体制について」の特別講演を企画致しました。有床診療所や療養型病床

などの今後の方向性を示して頂くようお願いしております。先生方はもとより看護部門、事務部門、MSWの方など多数ご参加下さいますようお願い致します。

当日、会場にて新規登録医の受付も行います。ご希望の先生は会場受付でお申し付け下さい。

なお、お車で越しの場合は、熊本城二の丸駐車場側裏門より臨時駐車場に御入場下さいますようお願い申し上げます。  
(副院長 池井 聡)

## 第22回 国立病院機構熊本医療センター開放型病院連絡会

日時：2007年2月14日（水）午後7時より9時

場所：国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

内容：1. 紹介症例の呈示 2題

2. 総合討論

3. 特別講演 「これからの医療提供体制について」

厚生労働省 近畿厚生局長 松本 義幸 先生

〈参加申込先〉国立病院機構熊本医療センター管理課

電話 096-353-6501 内線390（西田・上園）

住所 〒860-0008 熊本市二の丸1-5

## 基本理念

国立病院機構熊本医療センターは

1. 最新の知識と医療技術をもって良質で安全な医療を提供します
2. 人権を尊重し、愛と礼節のある医療の実践を目指します
3. 教育・研修・研究を推進し、医学・医療の発展に寄与します
4. 国際医療協力を通して世界人類の健康に貢献します
5. 健全経営に努め、医療環境の向上を図ります



## — これからも心の支えに —

医法) 宏保会

武藤眼科・大久保内科

院長 大久保 康生

この度、平成18年12月5日に子飼本町にて眼科で開業していました義父の武藤宏一郎とともに内科を開業させて頂きました。

今日まで、熊本大学附属病院、水俣総合医療センター、山鹿市立病院にて主に糖尿病・高脂血症・甲状腺疾患等の代謝疾患や循環器科疾患の治療に携わってきました。今回内科の開業にあたり、眼科と連携し糖尿病性網膜症の治療や糖尿病患者の白内障手術などをより高度かつ安全に患者様に提供できるものと考えております。

国立病院機構熊本医療センターには、今までも大変お世話になりました。救命救急部長の高橋先生が私の同級ということもあったのですが、特に山鹿市立病院時代には、外の病院で難色を示された救急患者様でも、必ず引き受けて頂き私の心の支えとなっていました。救急患者様を搬送する側としては、熊本医療センターのスタッフの皆さんにお手をかけることは目に見えておりいつも心苦しく思っておりました。しかし熊本医療センターのスタッフの方々

には、患者様に大変よくして頂き、搬送した私どもに何一つ苦情を返されることなくいつも感心しておりました。

かかりつけ医となる道を選んだ大きな理由は、総合病院ではなし得なかった患者様一人一人に密接な医療を提供できると考えたからです。待ち時間1~2時間、診療時間5分程度の外来治療に疑問を感じていました。しかし総合病院ではそうせざるを得なかったのも事実なのですが。

医師として最近の医療はますます高度化し、病気も多様化していると感じています。かかりつけ医だけではどうしてもならない高度な検査・治療を必要とされる患者様方が必ずおられます。そのような場合は、病院とかかりつけ医が常に連絡し合う病診連携が重要となってきます。

是非、当院と病診連携を国立病院機構熊本医療センターにお願いしたいと思います。

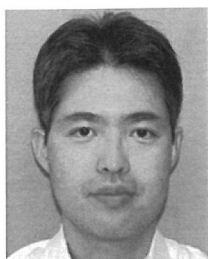
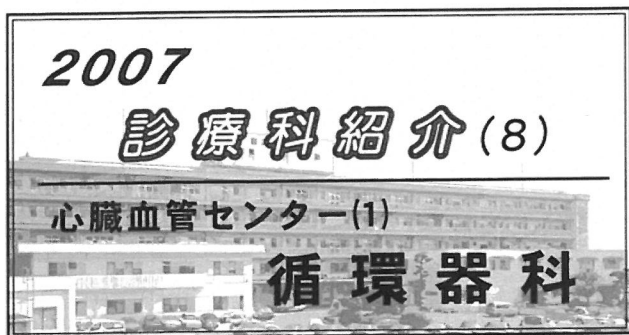
救急・最先端医療の持続は大変と考えますが、今後も国立病院機構熊本医療センターのますますの発展を祈念するとともに、一開業医となった現在も、心強い後ろ盾であって欲しいと願っています。



ホームページをご利用下さい。診療、研修、研究など情報満載です。

国立病院機構熊本医療センター ホームページアドレス

<http://www.hosp.go.jp/~knh/>



宮尾 雄治

循環器疾患一般、  
カテーテルインターベンション  
日本内科学会認定医  
日本内科学会指導医  
日本循環器学会専門医



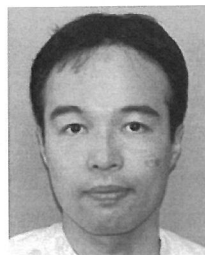
田中 朋子

循環器疾患一般、  
カテーテルインターベンション



藤本 和輝

循環器疾患一般、  
カテーテルインターベンション、  
血管新生療法  
日本内科学会認定内科専門医  
日本内科学会指導医  
日本循環器学会専門医  
日本心血管カテーテルインターベンション  
学会指導医  
日本心血管カテーテル治療学会指導医  
インフェクションコントロールドクター



村上 和憲

循環器疾患一般、  
カテーテルインターベンション  
日本内科学会認定医  
日本東洋医学会専門医  
日本東洋医学会指導医



福嶋隆一郎

循環器疾患一般、  
カテーテルインターベンション

## 診療内容と特色

当科では救急医療に特に力を入れており、急性心筋梗塞、急性心不全、ショック、心肺停止などの重症例に対しても、24時間365日対応出来る体制にあります。また、2000年2月からモービルCCUが24時間運行可能となり、徐々に出勤回数が増加してきています。尚、2006年10月からモービルCCUが大型の新規車両となりました。

循環器科と心臓血管外科は、心臓血管センターとして共同で診療し、手術の検討は両者で行い、緊急手術にも迅速に対応しています。さらに、従来の循環器科の治療の他に、血管新生療法にも取り組み、現在までに20例施行し良好な結果を得、2006年8月に高度先進医療の承認を受けています。

- 日本内科学会教育病院
- 日本循環器学会研修施設
- 日本心血管カテーテルインターベンション学会研修関連施設
- 日本救急医学会救急科専門医指定施設
- 日本集中治療医学会集中治療専門医研修施設

## 診療実績

2006年(1~12月)

新入院患者数	963名
平均在院日数	12.4日
心臓カテーテル検査	702件
経皮的冠動脈形成術	168件
経皮的血管形成術	12件
ペースメーカー植え込み術 (CRTD 2件、ICD 2件を含む)	52件
血管新生療法	9件
モービルCCU出勤件数	40件

## 研究実績

• J-WIND Trial (Japan Working Groups of Acute Myocardial Infarction for the Reduction of Necrotic Damage) (厚生労働省21世紀型医療開拓推進事業) はじめ、抗血栓療法、心不全、心筋梗塞等公的研究費補助の下に約10課題の研究に取り組んでいます。

## ご案内

当院では、24時間体制で救急医療を行っています。重症循環器疾患に対してモバイルCCU 2台を運行しています。096-353-6501(代)へお電話下されば担当医師、看護師、事務職員同乗で出動致します。

さらに、心電図判読FAX相談（24時間対応：FAX番号096-354-8533）を受付けています。ご遠慮なくご相談下さい。



## 最新MRI装置稼働開始のご案内

本年2月22日（木）より、当院画像診断・治療センター（放射線科）にて、シーメンス社製『MAGNET OM Avanto』が稼働致します。熊本市近郊で初めて導入されたMRI 1.5T装置の最上位機種で、さまざまな最新の撮像法が装備されています。本装置に初めて搭載されたTim (Total imaging matrix) という最新のコイルシステムにて、高速イメージング法（パラレルイメージング）を全身で使用することが可能になり、短時間で高画質の撮像が可能になりました。

Timコイルシステムでは、頭頸胸部や全脊椎の広範囲検査が可能となります。また、全身の血管撮影が造影剤を用いずに広い範囲で可能となります。最も期待されるのは、悪性腫瘍の全身検索に体幹部の Body Diffusion がPETに近い画像として撮像できるようになったことです。ほとんどの撮像が足元からガントリに入るFeet-Firstで、顔をガントリの外に出したまま検査

でき、閉所恐怖症や不安の軽減ができます。

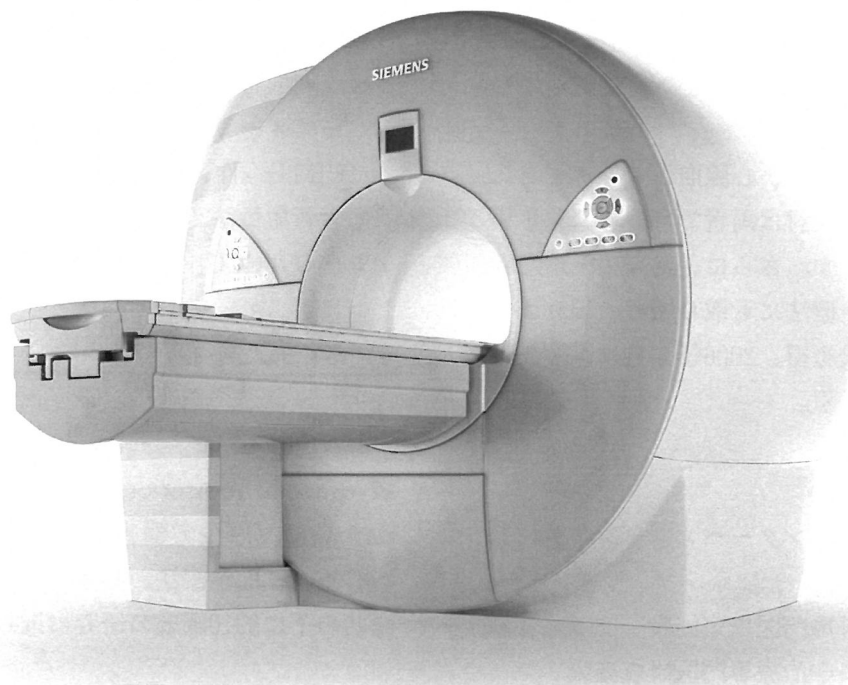
現在稼働中の1.5T装置フィリップス社製『INTERA Master』と合わせて2台フル稼働しますので、予約待ち時間なく先生方のご要望にお応えできると思います。ご活用の際、よろしくお願い致します。

検査予約は、放射線科受付まで電話096-353-6501(代)内線323でお願い致します。その後専用の検査予約FAX送信票（診療情報提供書兼紹介状）をFAX（医事FAX 096-323-7601）して下さいますようお願い致します。

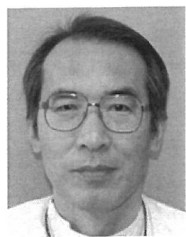
検査予約FAX送信票が御入用の場合は096-353-6501(代)内線800へお電話下さればお送り致します。

尚、当院は、昨年11月より電子カルテ、本年2月よりフィルムレス運用となっております。フィルムが不要な場合は、CDにて画像をお渡しできますのでお申し付けください。

（放射線科医長 吉松 俊治）



# 人間ドックのご紹介



人間ドック担当  
内科部長

東 輝一郎

健康で長生きしたいとは誰もが願うことです。最近、内臓脂肪が多い人は脳梗塞や心筋梗塞あるいは糖尿病を起こしやすいことが注目されるようになりました。

人間ドックでも、早速腹囲の項目を追加し、軽度の高血圧や高脂血症、高血糖からメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）と診断された方には、真剣に生活習慣改善を心がけられるよう注意を促しています。

人間ドックを始めてから今年で12年目と一つの節目を迎えることが出来ました。また人間ドック検診報告書も2006年11月から電子カルテ対応となりました。オプションにも充実をはかり、高い医療レベルを有する総合病院としてのメリットを活かしながら、しかも温かい個人対応のできる人間ドックとして、さらに質の高い健診を提供させていただきます。

## 人間ドックの概要

### 1) コースのご案内

1日ドック（日帰り）と2日ドック（1泊2日）の2つのコースがあります。2日コースには負荷心電図、下部消化管内視鏡検査、75g糖負荷試験および聴力検査が含まれます。

### 2) オプションのご案内

9つのオプションを用意しています。

1. 肺がん検査（喀痰細胞診検査・胸部単純CT検査）
2. 心エコーの検査
3. 骨そしょう症検査
4. 前立腺がん検診（PA血液検査）
5. 子宮頸がん検査
6. 子宮体がん検査
7. 卵巣腫大検査
8. 乳がん検査（乳腺超音波検査・乳腺マンモグラフィ検査）
9. 頭部単純MRI検査
10. 歯科口腔検診

## 人間ドック検査項目

項目	検査項目	1日ドック	2日ドック
内科診察	診察	●	●
体格	身長, 体重, BMI (体格指数), 腹囲	●	●
呼吸器系	胸部X線, 肺機能	●	●
循環器系	血圧測定, 心電図	●	●
	負荷心電図		●
消化器系	便潜血, 上部消化管内視鏡	●	●
	下部消化管内視鏡		●
肝臓機能検査	総蛋白, アルブミン, 総ビリルビン, GOT, GPT, LDH, ALP, r-GTP, コリンエステラーゼ, HBs抗原, HCV抗体	●	●
膵臓機能検査	血清アミラーゼ	●	●
腹部エコー検査	肝臓, 胆のう, 膵臓, 腎臓, 脾臓など	●	●
糖代謝系	血糖(空腹時), 尿糖, HbA1c	●	●
	75g糖負荷試験		●
脂質代謝系	総コレステロール, HDLコレステロール, 中性脂肪	●	●
骨代謝系	Ca, P	●	●
腎・泌尿器系	尿蛋白, 尿潜血, 尿沈渣, BUN, クレアチニン, 尿酸, Na, K, Cl	●	●
血液型	A B O, Rh式	●	●
血液検査	赤血球, 白血球, ヘマトクリック, ヘモグロビン, 血小板	●	●
眼科検査	視力, 眼底(散瞳します), 眼圧	●	●
耳鼻科検査	聴力		●
歯科検査	歯牙疾患, 口腔, 顎顔面領域(但し、骨所見は除きます)	●	●
その他	梅毒反応(TPHA), CRP, RA	●	●

### 人間ドックの申し込み方法

受診のお申し込みはすべて予約制になっております。電話あるいは直接おいでになって、ご予約をして頂くようご指導をお願い致します。

人間ドック受付：医事0番窓口 電話096-353-6501（内線）252

# 脳ドックの紹介



脳ドック担当  
脳神経外科医長  
大塚 忠弘

当院では1996年4月から脳ドックを開始し、現在は専門外来として毎週木曜日に日帰りコースで実施しています。

頸部超音波エコー検査と脳MRI、MRAについてはそれぞれ神経内科及び放射線科医師により判読され、総合判定を脳神経外科で行うなど三科連携による正確な判定を期し

ております。対象となる主な疾患として、未破裂脳動脈瘤、無症候性の頭蓋内及び頸部の血管閉塞や狭窄、無症候性脳梗塞（ラクナ梗塞を含む）や出血、高次脳機能障害、脳卒中の危険因子、及びその他の機能的・器質的脳疾患などが挙げられます。これまで22歳の若年者から84歳の高齢者まで幅広く受診されており、脳ドックに対する関心の高さが窺えます。

とりわけ受診者の最も高い関心は脳動脈瘤です。脳ドックの全国調査では、脳動脈瘤の平均的な発見率は2.7%であり（くも膜下出血の家族歴があればさらに大）、およそ30人に1人と考えれば決して稀ではありません。

世界一の高齢化社会である我が国では脳血管障害は大きな社会問題であり、脳ドックの意義は大きいと思います。

## コースのご案内

脳ドックは、毎週木曜日に「午後コース」にて実施しています。

料金：31,500円（消費税込み）

## 脳ドック検査項目

1. 身長，体重，血圧，脈拍
2. 血液型
3. 血液検査  
赤血球，白血球，ヘマトクリニット，ヘモグロビン，血小板，アルブミン，総蛋白，BUN，クレアチニン，総ビリルビン，GOT，GPT，LDH，r-GTP，Na，K，Cl，Ca，中性脂肪，総コレステロール，HDL-コレステロール，血糖
4. 高次脳機能検査
5. 脳波
6. 頸部血管エコー検査
7. MRI，MRA検査

## 脳ドックの申し込み方法

受診のお申し込みはすべて予約制になっております。電話あるいは直接おいでになって、ご予約をして頂くようご指導をお願い致します。

脳ドック受付：医事0番窓口

電話096-353-6501（内線）252

## 日本医療マネジメント学会 第9回熊本地方会開催のお知らせ

～患者の視点から地域医療連携を見直す～

この度、日本医療マネジメント学会第9回熊本地方会を下記の通り開催することとなりました。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

世話人 相良 勝郎

（熊本市医師会熊本地域医療センター院長）

期 日：2007年3月10日（土）12：00～17：00

会 場：熊本学園大学12号館

熊本市大江2丁目5番1号

（学会専用の駐車場はありません。会場へのお越しは、公共の交通機関をご利用下さい。）

内 容：

### 1. 特別講演

「新地域医療計画の策定に関わる諸問題（仮題）」

九州大学大学院医療システム学教授 信友 浩一

### 2. シンポジウム

「医療におけるIT化の現状と問題点」

3. 一般演題（口演）：公募（クリティカルパス、NST、チーム医療、リスクマネジメント、電子カルテ、オーダリング、電子請求、その他の業務改善工夫等）

4. クリティカルパス展示：公募

参 加 費：本学会会員 1,000円 非学会員 3,000円

参加費は当日のお支払いとなります。

### 〈問い合わせ先〉

日本医療マネジメント学会第9回熊本地方会事務局

熊本市医師会熊本地域医療センター

地域医療連携室（小元・田上・佐藤）

〒860-0811 熊本市本荘5丁目16-10

TEL096-366-1323 FAX096-363-3416

E-mail renkei@krmc.or.jp

## 第12回 国立病院機構熊本医療センター医学会開催される

2007年1月13日、14日の両日にわたって、第12回国立病院機構熊本医療センター医学会が、地域医療研修センターにて開催されました。今回は、一般演題67題が報告されました。また、特別講演には、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科医療システム情報学教授熊本一朗先生に、“病院の情報とマネジメント”という演題で、ご講演頂きました。また、本学会は、開放型病院登録医の先生方のご参加もあり、今回も、岡部正人先生、木村圭志先生、吉川成章先生に座長をお願いしました。前年度、当学会で発表した演題で論文化された中から、今回は、最優秀賞：腎臓内科 富田正郎、奨励賞：消化器科 中田成紀、看護部 釜崎美和、治療センター 久保美紀子、臨床検査部 若松明大、熊本市消防局 井上雅代、毎床智則（敬称略）の7名が

宮崎院長より表彰されました。次年度もさらに立派な医学会となるよう、全スタッフの努力が望まれます。

（副院長・臨床研究部長 河野 文夫）



熊本一朗先生による特別講演

## 平成18年度第2回 熊本市歯科医師会・国立病院機構熊本医療センター連絡協議会報告

2006年12月20日(水)、平成18年度第2回開放型病院連絡会の開催を前にした熊本市歯科医師会と国立病院機構熊本医療センターとの懇談会が催されました。

市歯科医師会からは、古賀会長、合沢副会長、清村専務理事、田中医療管理理事、宮本医療管理委員長、当院から宮崎院長、池井副院長、河野副院長、高橋救命救急センター部長、児玉歯科口腔外科医長が出席しました。

宮崎院長、古賀会長の挨拶の後、議事に入りました。まず児玉より、歯科口腔外科への紹介率について、2006年度の目標である月平均35%台はすでに超して、37.1%となっていることを報告し、歯科医師会のご協力に感謝を述べるとともに、さらなるご協力をお願いしました。次に障害者歯科医療について、清村専務理事から、歯科医師会会員が障害者を軽度・中度・重度に分けて歯科医療に取り組むこととなり、その結果、重度例は当院へお願いすることになるとの報告がありました。

次いで高橋救命救急センター部長より、2006年の歯

科口腔外科救急症例は98例と、前年度と変化はないが、外傷症例の減少については、形成外科と分け合う形となり、実質的には増加しているとの報告がありました。

続いて児玉より、2007年11月8日(木)に開催される救急蘇生講座について報告した後、最後に池井副院長より、2007年2月14日(水)に開催される開放型病院連絡会についての報告があり、閉会となりました。

（歯科・口腔外科医長 児玉 罔昭）



### ■原稿を募集致します■

登録医の先生の投稿を歓迎致します。400～800字程度を基準にお願い致します。

送付先 〒860-0008 熊本市二の丸1-5

国立病院機構熊本医療センター 『くまびょうNEWS』編集室まで

## 研修レポート

### 産婦人科

おお かど あゆみ  
大 門 有由美



熊本大学病院初期臨床研修Aコース2年目として2006年5月より国立病院機構熊本医療センターで研修させて頂いています大門有由美と申します。

早いもので、もう2年目の研修も終わりにさしかかろうとしています。こちらでは形成外科、皮膚科、精

神科、小児科で2ヶ月、救命救急で1ヶ月研修をさせて頂き、婦人科での研修を残すのみとなりました。1年目は大学病院での研修であったため、特殊な症例が多く、疾患にも偏りが多かったように思いますが、こちらでは救急当直を含め、大学では診ることのないであろう一般的な症例から珍しい症例まで、様々な症例を経験させて頂くことができました。特に救急当直では救急車の多さに驚き、初日の当直はとても緊張したのを覚えています。2つのタイプの異なる病院で研修をできたことは、広い意味での医療をみる上でも大変勉強になりましたし、とても感謝しております。

まだまだ勉強不足を痛感する毎日ではありますが、この2年間の経験を生かし、3年目からは母校である東京女子医大病院の皮膚科へ入局することが決まりました。残りわずかではありますが、最後まで一生懸命頑張りますので御指導、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### 麻酔科

やま むら あき こ  
山 村 明 子



2006年5月から国立病院機構熊本医療センターで研修をさせて頂いております山村明子と申します。昨年1年間熊本大学附属病院にて研修後、こちらに参りました。約1カ月間救急を、また各2カ月間ずつ代謝内科・神経内科・小児科・産婦人科をローテーションし、現在は麻酔科にて研修中です。

熊本医療センターに来て間もない頃は、1日あたりの救急車の数が非常に多いこと、救急外来での疾患の

幅広さに驚いたものでした。しかし、先輩の先生方が救急医療の場で、冷静かつ情熱的に働く姿から、多くのことを教わりました。また、熊本医療センターは、広い医局で各科の先生方と机が近くにあり、各科の領域を越えて、1人の患者様のコンサルトが非常に円滑にできる環境にあり、すばらしいと感じました。先輩の先生方をはじめ、同期の研修医や様々な医療従事者の方、患者様との出会いの中で、医師として、社会人として、学ぶことの連続の日々を過ごさせて頂いています。

これからも技術や知識といった医療行為だけでなく、医師としての、言動や立ち振る舞いなど先輩の先生方の後姿から学び、1つでも多くを吸収し、日々成長していきたいと考えています。まだまだ未熟ですが、今後ともご指導・ご鞭撻の程どうぞよろしくお願い致します。

### 総合医療センター

#### 血液・膠原病内科

ひら しま みほ  
平 島 みほ



2006年4月より初期研修をさせて頂いております平島みほと申します。2007年の3月までお世話になります。

前半は外科系で研修させて頂き現在は内科系の研修中です。指導医の先生方に恵まれ、患者様に接する態度をはじめ学ぶことが大変多く、充実した日々を送っております。麻酔科では気管挿管、ルート確保を、外科では縫合を身に付け、その後に救急部で研修した時

にそれらの手技を活かした時は少しばかりの喜びを感じました。内科系は1ヶ月ずつのローテートで早くも4科の研修が終了しました。短期間でも指導医の先生方の丁寧なご指導は変わりなく、大変勉強になっております。まだあやふやな知識・手技が多く、なかなか自信を持ってできることが少ないですが、これからの研修でさらに知識を得て、経験を積んでいくことで一つ一つを自分のものにしていけるようがんばりたいと思います。

また、同期の15名の1年目研修医とは、真剣に患者様の病態について話したり、たまには疲れを癒しに出掛けたり、いつも良い刺激を受けており、素晴らしい同僚を持たたと大変有難く思っています。

これからも皆様に御迷惑をお掛けすることが多いと思いますが、御指導、御鞭撻の程宜しくお願い致します。



# 研修のご案内

## 第66回 三木会（無料）

（糖尿病、高脂血症、高血圧を語る会）

[日本医師会生涯教育講座3単位認定]

[糖尿病療養指導士認定更新0.5単位認定]

日時▶2007年2月15日(木)19:00~20:45

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

### 1. 糖尿病関連検査データ活用法

国立病院機構熊本医療センター臨床検査科

松本恵美子

### 2. 心肺停止直後からの by stander CPR により社会復帰が可能であった3症例

国立病院機構熊本医療センター心臓血管センター循環器科

福島隆一郎、田中朋子、村上和憲、宮尾雄治、藤本和輝

### 3. 意識障害および一過性尿崩症を呈した糖尿病の1例

国立病院機構熊本医療センター総合医療センター内分泌・代謝内科

川崎修二、市原ゆかり、児玉章子、高橋 毅、小堀祥三、東 輝一郎

なお、興味のある症例、疑問・質問のある症例がございましたら、ご持参いただきますようお願い致します。

[問合せ先] 国立病院機構熊本医療センター総合医療センター内分泌・代謝内科 小堀 祥三・東 輝一郎 TEL 096-353-6501 (代表) 内線796

## 第97回 月曜会（無料）

（内科症例検討会）

[日本医師会生涯教育講座3単位認定]

日時▶2007年2月19日(月)19:00~20:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

### 1. 胸部X線写真供覧

国立病院機構熊本医療センター総合医療センター呼吸器内科医長

森松 嘉孝

### 2. 持ち込み症例の検討

### 3. 症例呈示「メルカゾールにより無顆粒球症を呈し、GCSFにて改善を認めたバセドウ病の1例」

国立病院機構熊本医療センター総合医療センター内分泌・代謝内科

市原ゆかり

### 4. ミニレクチャー「B型肝炎, Now and then」

国立病院機構熊本医療センター消化器病センター消化器科医長

杉 和洋

日頃、疑問の症例、興味のある症例、X線写真、心電図等がございましたら、ご持参下さいますようお願い致します。

[問合せ先] 国立病院機構熊本医療センター副院長 河野 文夫 TEL: 096-353-6501 (代表) FAX: 096-325-2519

## 第209回 初期治療講座（会員制）

[日本医師会生涯教育講座5単位認定]

日時▶2007年2月24日(土)15:00~18:00

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

### 「小腸疾患の診断と治療」

座長 熊本市医師会 明石 隆吉

#### 1. 小腸疾患の検査と診断

国立病院機構熊本医療センター消化器病センター消化器科

中田 成紀

#### 2. 小腸疾患の治療

国立病院機構熊本医療センター外科

吉田 直矢

#### 3. 器材供覧

国立病院機構熊本医療センター消化器病センター消化器科

中田 成紀

この講座は有料で、年間10回を1シリーズ（年会費20,000円）として会費制で運営しています。但し、1回だけの参加を希望される場合は会費5,000円で参加いただけます。

[問合せ先] 国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501 (代表) 内線263 096-353-3515 (直通)

## 第81回 救急症例検討会（無料）

日時▶2007年2月28日(水)18:30~20:00

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

### 症例検討「循環器 胸痛呼吸困難」

### 特別講演「地域MC体制と機関連携のあり方ー病院前救護の特性をふまえて」

救急救命九州研修所教授 郡山 一明

医師、薬剤師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、栄養士、救急救命士、救急隊員、事務部門等全ての医療従事者を対象とした症例検討会です。医師以外の方にも理解できるよう配慮した内容にしています。

[問合せ先] 国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501 (代表) 内線263 096-353-3515 (直通)

2007年

# 研修日程表

2月

国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

2月	研修ホール	会議室	その他
1日(木)			7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 18~19 代謝内科カンファレンス M
2日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
3日(土)	14:00~16:00 第195回 滅菌消毒法講座《会員制》 「滅菌バリデーション」 済生会福岡総合病院麻酔科部長 松田 和久		
5日(月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
6日(火)		18:00~19:30 血液病懇話会(図)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C
7日(水)		16:00~18:00 皮膚科組織検討会(図)	17:00 消化器疾患カンファレンス C
8日(木)	18:30~20:00 病薬連携研修会		7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 18~19 代謝内科カンファレンス M
9日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
13日(火)	19:00~20:30 熊本県臨床衛生検査技師会 一般検査研究班月例会	18:00~19:30 血液病懇話会(図)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C 19~21 泌・放射線科合同ウログラム C
14日(水)		16:00~18:00 皮膚科組織検討会(図)	17:00 消化器疾患カンファレンス C
15日(木)	19:30~21:30 第45回 有病者歯科医療講演会 座長 熊本県歯科医師会学術委員会理事 伊藤 明彦 「歯科領域における神経疾患の診断と対応」 国立病院機構熊本医療センター神経内科医長 俵 哲	19:00~20:45 第66回 三木会 (糖尿病、高脂血症、高血圧を語る会) [日本医師会生涯教育講座3単位認定] [糖尿病療養指導士認定更新0.5単位認定]	7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 18~19 代謝内科カンファレンス M
16日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
18日(日)	8:30~16:00 日本臨床細胞学会熊本県支部研修会<総会・学会>		
19日(月)	19:00~20:30 第97回 月曜会(内科症例検討会) [日本医師会生涯教育講座3単位認定]		8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
20日(火)		18:00~19:30 血液病懇話会(図)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C
21日(水)	13:00~17:00 日本医療マネジメント学会主催 平成18年度第2回クリティカルパス実践セミナー in熊本 [1日目] 18:00~19:30 第46回 国立病院機構熊本医療センタークリティカルパス研究会(公開)		17:00 消化器疾患カンファレンス C
22日(木)	9:00~15:00 日本医療マネジメント学会主催 平成18年度第2回クリティカルパス実践セミナー in熊本 [2日目]	19:00~21:00 熊本脳神経疾患懇話会	7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 18~19 代謝内科カンファレンス M
23日(金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
24日(土)	15:00~18:00 第209回 初期治療講座《会員制》 [日本医師会生涯教育講座5単位認定] 座長 熊本市医師会 明石 隆吉 「小腸疾患の診断と治療」 1. 小腸疾患の検査と診断 国立病院機構熊本医療センター消化器科 中田 成紀 2. 小腸疾患の治療 国立病院機構熊本医療センター外科 吉田 直矢 3. 器材供覧 国立病院機構熊本医療センター消化器科 中田 成紀		
26日(月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
27日(火)	18:30~20:30 血液研究班月例会	18:00~19:30 血液病懇話会(図) 19:00~21:00 小児科火曜会	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C
28日(水)	18:30~20:00 第81回 救急症例検討会 症例検討「循環器 胸痛呼吸困難」 特別講演「地域MC体制と機関連携のあり方-病院前救護の特性をふまえて」 救急救命九州研修所教授 郡山 一明	16:00~18:00 皮膚科組織検討会(図)	17:00 消化器疾患カンファレンス C

(図) 図書室 C 病院本館2階カンファレンス 手術室控室 別6 別6病棟 外来 小児科外来 M ミーティングルーム  
問い合わせ先 〒860-0008 熊本市二の丸1番5号 国立病院機構熊本医療センター-地域医療研修センター  
TEL 096-353-6501(代)内線263 096-353-3515(直通)